

## 現代ベトナムソーシャルワークにおける 仏教者の役割

研究員 菊池 結

### 一、本発表の目的

本発表では、今年度にメルボルンで採択されたソーシャルワークの新しい国際定義と、ベトナム国立社会人文科学大学ハノイ Nguyen Hoi Loan 教授の「THE PRACTICAL AND SPIRITUAL CHARACTERISTIC OF BUDDHISM IN SOCIAL WORK IN VIETNAM」を紹介した。また、二〇一四年三月一九日から二四日の日程で行った第二回ホーチミン現地調査の報告をおこなった。

### 二、ソーシャルワークの新しい国際定義

「ソーシャルワークは、社会変革と社会開発、社会的結束、および人々のエンパワメントと解放を促進する、実践に基づいた専門職であり学問である。社会正義、人権、集団的責任、および多様性尊重の諸原理は、ソーシャルワークの中核をなす。ソーシャルワークの理論、社会科学、人文科学および地域・民族固有の知を基盤として、ソーシャルワークは、生活課題に取り組みウェルビーイングを高めるよう、人々やさまざまな構造に働きかける。この定義は、各国および世界の各地域で展開してもよい。」(社会福祉専門職団体協議会国際委員会+日本福祉教育学校連盟による日本語

定訳)

この新しい国際定義は、仏教者（特にアジア）の社会的実践を考えるうえで二つの課題をもつ。一つは、ソーシャルワーカー—専門職であると定義されている。二つに、「地域・民族固有の知を基盤として」、「各国および世界の各地域で展開してもよい」という文章が追加されている。つまり、一つの否定と可能性が導き出される。①の課題から言えるのは、多くの仏教者の社会的実践は、ソーシャルワークではない。②の課題から言えるのは、その国ごと、地域ごとにとったソーシャルワークを考えなければいけないということである。

### III、THE PRACTICAL AND SPIRITUAL

#### CHARACTERISTIC OF BUDDHISM IN SOCIAL WORK IN VIETNAM

左記論文の冒頭で、ベトナムのソーシャルワークに独自の特徴をあたえる、プラクティカルで、スピリチュアルな仏教の性格について議論したいと述べられている。ベトナムでは、仏教の教えは、人々のライフスタイルや社会的な価値観の大部分を担っており、仏教は社会活動に大きな影響を持っているとしている。

### 四、若干の結論

ソーシャルワークの新しい国際定義の採択などにより、

現在、アジアでのソーシャルワークにおいて仏教者が果たしている役割が注目されている。なぜならば、ベトナムをはじめとした仏教者の社会的な実践は、欧米のソーシャルワーカーと同等の効果をあげているし、欧米圏で成立したソーシャルワークの定義をアジアでそのまま使用することに対して疑問視されているからである。